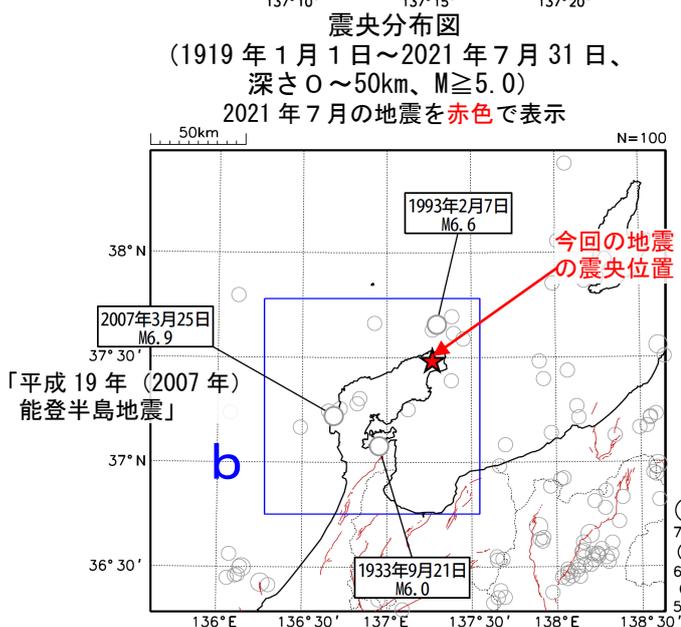
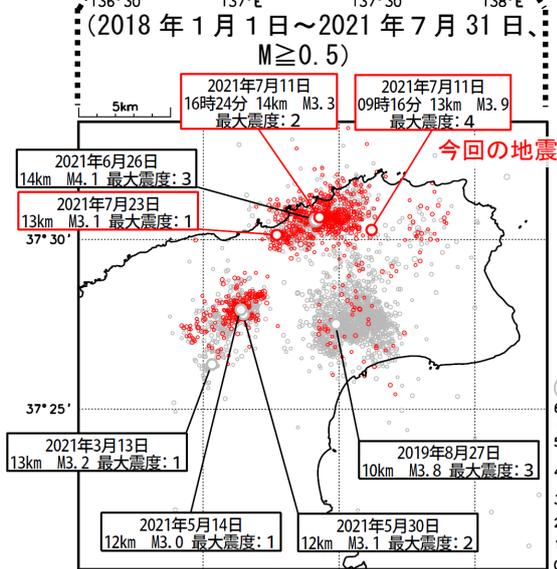
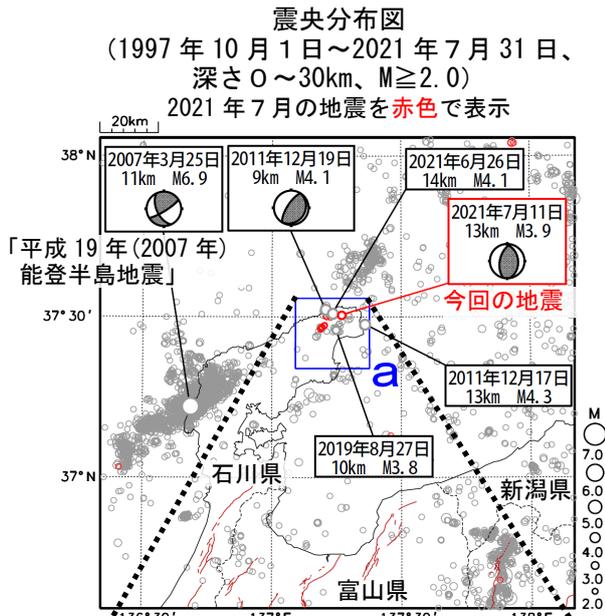


7月11日 石川県能登地方の地震



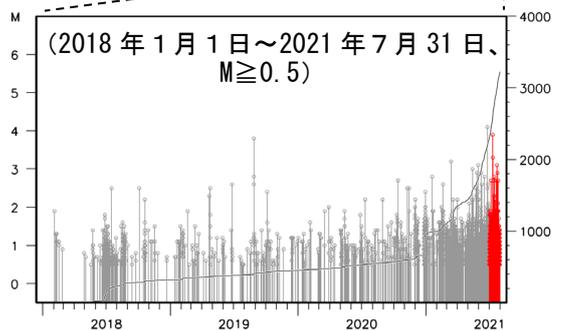
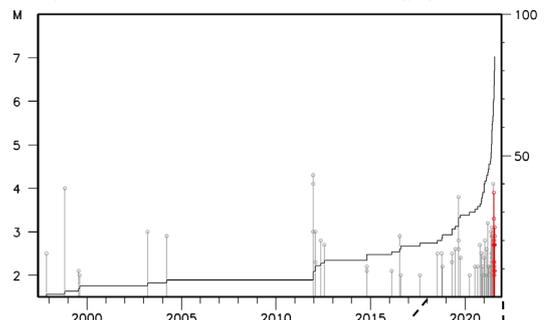
茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2021年7月11日09時15分に石川県能登地方の深さ13kmで $M 3.9$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では2011年12月17日に $M 4.3$ の地震（最大震度3）が発生したほか、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月からより活発になっている。2021年6月26日には $M 4.1$ の地震（最大震度3）が発生した。2020年12月から2021年7月末までに震度1以上を観測した地震は16回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。2007年3月25日には「平成19年（2007年）能登半島地震」が発生し、死者1人、重軽傷者356人、住家全半壊2,426棟などの被害を生じた（総務省消防庁による）ほか、石川県珠洲市で22cmの津波を観測した。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

